

コロナ疎開

川口基督教会牧師 司祭 ステパノ 柳 時京

3月の第1主日に、第2主日からの礼拝中止を決定して、もう二か月以上が経ちました。その原因となったコロナウイルス感染症の拡大防止を目的として、しばらく礼拝や諸集會を控えて自肅するつもりでした。しかしその後も、依然として感染症の収束の目処は立っておらず、続いて4月も、そして5月も30日まで、礼拝中止期間を延長しました。その間に、政府から緊急事態宣言が出され、今は日本全国レベルで自肅の呼びかけが鳴り響いています。パンデミック (pandemic) という名称通り世界中 (パン) がコロナとの戦争ともいえるべき緊急事態に困惑しています。

実は、150周年を迎える川口基督教会の歴史を振り返ってみると、資料で見る限り戦争中や災害の際にさえ、一度も主日礼拝を休むことはありませんでした。しかも、外部の圧力や迫害によるものでもなく、教会自らが礼拝を中止する決断をしたという点でも、今まで経験したことのない、全く想定外の非常事態を迎えています。

当教会としては、宣教開始150周年の当該年度を迎え、記念礼拝や諸事業の準備にいよいよ拍車をかける、スタートラインに立ったところでした。そして牧師の私としては、2月の堅信受領者総會を終え、4月から赴任2年目を迎えて、いよいよ牧會活動を軌道に乗せようと考えていた矢先に、伏兵に襲われたかのような感じです。これは、もちろん当教会や私だけのことではありません。日本中、世界中の人々が、共通して直面している史上初の戦いです。この戦いを勝ち抜くため、政府や地方自治団体を中心に防疫対策が講じられ、人々の間でも様々な知恵や多様なキャンペーンが行われています。そういう中で、私はある市民グループが作った1枚のポスターに出会いました。

コロナウイルスの正式名称である COVID-19(コヴィッドの英語を一文字ずつ、頭文字として作られたものです。これからも続く COVID-19 に備えて、ここで紹介して皆様と分かち合いたいと思います。

C Courage 勇気。恐怖を勇気に変えてください！すべての人間は、新型コロナウイルスに効果的に対処することができます。

O Openness 開かれた心。開かれた心を持ってください！人間を脅かすのは、コヴィッド19ではなく、人種差別です。

V Victory 勝利。勝利は私たちのものです。

I Information 情報。情報を正確に識別してください。誤った事実と偽ニュースを避け、正確な事実を追求してください。

D Defence 守る。自分と大切な人たちを守ってください！コロナウイルスの拡大防止と遮断のために、常にマスクを着用して手を洗ってください。

1 day 9 people 1日に9人の人々に温かい心と希望を共有しましょう。

私たちは、毎晩9時に「主の祈り」を共に献げながら、離れてはいるものの同じ信仰の群れとして一つであることを確かめつつ、この時期を乗り越えようとしています。家で過ごすこの様子は「コロナ疎開」と言ってもいいでしょう。上掲のキャンペーンを覚えながら、信仰が豊かに実る尊い時間として参りましょう。

「それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばなら ないかもしれませんが、あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも 朽ちるほかない金よりはるかに尊いのです。」(I ペテロの手紙1：6－7)